



平成 23 年 1 月 20 日

各 位

会 社 名	株式会社キトー	
代 表 者 名	代表取締役社長	鬼頭 芳雄
コード番号	6409 (東証 第一部)	
問 合 せ 先	専務取締役 専務執行役員 経営管理本部長	野村 博
	TEL : 03-5371-7345	

中期経営計画に関するお知らせ

～ 2011 年度から 2015 年度の 5 ヶ年計画 ～

当社は、「真のグローバル No. 1 のホイストメーカー」となることを目指しております。そのビジョン達成に向けた次期 5 ヶ年（2011-2015 年度）の中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 中期経営計画策定の背景

当社は、2007 年 8 月に東証一部に上場し、翌年 2008 年 5 月に 5 ヶ年中期経営計画を発表いたしました。しかしながら 2008 年 9 月の金融危機に端を発する世界同時不況から計画の見直しを余儀なくされました。2009 年、2010 年と世界的な財政出動により、世界経済も底打ちから回復の傾向にありますが、とりわけ中国をはじめとしたアジアやその他新興国の経済成長が回復を支えている状況となっております。今後も世界経済を牽引するものと見込まれるこれらの地域に対し、世界中の企業が経営資源を集中しており、これまで以上に厳しい競争環境になることが想定されます。

係る環境下、当社が世界中のお客様に最も信頼される「真のグローバル No. 1 のホイストメーカー」となる為には、グローバルな企業体制を確立し、世界の競合相手との競争に耐え得る企業の体質と規模を追求することが必要であると認識しております。そこでこの度、いわゆる日本企業から世界各地のリソースを活かすグローバルな共同体企業へ変革を進め、売上高 1,000 億円の事業規模を目指す中期経営計画を策定いたしました。

当社には、中国・インドを含めたアジアにおける大きな市場成長を優位に獲得できるチャンスがあります。このアジア地域における今後数年間の市場成長が当社のグローバル成長にとって極めて貴重な機会であると捉え、オーガニック成長と M&A を軸に、世界の主要市場および今後の成長市場にキトーブランドをより一層浸透させ、同時に企業規模の飛躍的な拡大をこれからの 5 ヶ年で目指してまいります。

2. 中期経営計画の骨子

2015年度の業績目標として、既存事業のオーガニック成長による売上高 580 億円に加え、積極的な M&A を推進し、売上高 1,000 億円を目指します。売上高 1,000 億円を超える規模になることは、世界市場におけるキトーブランドのプレゼンスが確立されるとともに、グローバル規模の厳しい競争における優位性と地域的な為替や景気などの経済動向の影響を極小化し強固な企業構造を可能にします。世界の主要市場ならびに成長市場において、お客様の安全性および生産性向上という付加価値を実現するベストパートナーとして、最高の品質の製品とサービスを競争力の高いグローバルなサプライチェーンを通じて提供してまいります。1,000 億円に向けた規模の拡大について、国内市場の回復・成長には過度に期待せず、北米・中国に続き、アジア・南米等に積極的に注力し、日本のみならず、アジア全域および、米州全域においてもマーケットリーダーとなることを目指します。

〔2011-2015 連結数値目標〕

	2010 年度（見込）	2015 年度 目標
連結売上高	280 億円	580 億円
連結営業利益	11 億円	70 億円
営業利益率	4%	12%

〔地域別売上計画〕

単位：百万円

	2010 年度見込		2015 年度目標	
	金額	構成比	金額	構成比
米州	7,100	25.4%	15,000	25.9%
中国	7,100	25.4%	15,000	25.9%
日本	9,950	35.5%	13,500	23.3%
アジア	1,700	6.0%	10,000	17.2%
欧州	1,150	4.1%	2,500	4.3%
その他地域	1,000	3.6%	2,000	3.4%
合計	28,000	100.0%	58,000	100.0%

〔地域・製品・生産戦略 / 経営管理〕

- **地域戦略**：当面の成長牽引市場を北米・中国と位置づけ、サプライチェーンの現地化を推進してまいります。また、次期成長市場であるインド・タイ・インドネシア・ベトナムへの積極投資を進め、各市場におけるマーケットリーダーを目指します。同時に、南米、その他地域への将来的な進出に向けた体制づくりも進めてまいります。

- **製品戦略**：成長市場においても、お客様にとって高い付加価値が実現される最高の品質の製品とサービスを提供してまいります。商品ラインの構成として、ワイヤーロープホイスト市場に本格的に参入し、既存製品の電気チェーンホイスト、手動チェーンホイストと合わせ総合ホイストメーカーを目指すとともに、新興国のボリュームゾーンを意識した品揃えの拡充を進めてまいります。また、クレーンシステムを拡充し、併せて、お客様の作業現場における生産性と安全性向上を支援するサービス事業の再構築を進めます。さらに、中長期的な新製品・事業分野の開拓にむけた研究開発を強化してまいります。
- **生産戦略**：商品の需要地の構成に即したグローバル生産体制を確立していきます。現在の日本・中国に北米・アジアを加えた四極の生産体制を充実させ、各地のお客様へのデリバリーの向上と製造原価の低減と利益率改善を実現するグローバルサプライチェーンを構築します。この中で、山梨工場はグローバルスキルセンターへと改革し、各生産拠点の指導、スキル育成ならびに、新技術および新製品の研究開発を担う体制の充実を図ってまいります。
- **経営管理**：グローバルな企業体制への質的変革を促進するために、人材のグローバル化と効果的な経営管理の導入により、グローバルな企業としての生産性向上と経営品質の向上を目指します。また、M&A 推進に向けたチーム体制とそれをバックアップする財務・資本戦略を推進してまいります。

3. 補足説明資料

中期経営計画の詳細につきましては、添付補足説明資料「中期経営計画 2011－2015」をご参照ください。

以 上

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。